

carrozeria



はじめに

基本

テレビ

ビデオ

CD

ミュージックサーバー

映像と音の調整

付録

Audio Book

Pioneer

VICS用ビーコン受信機/7.0型ワイドTV付
CDユニット内蔵HDDナビゲーションサーバーセット
AVIC-XH07V

安全のために必ずお守りください

絵表示について

取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意(警告を含む)しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止(やってはいけないこと)の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意

(別冊の「安全上のご注意」もお読みください)

警告

[使用方法]

運転中に操作をしない



禁止

画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

走行中にテレビやビデオを見ない



禁止

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。走行中にテレビやビデオを見ると前方不注意となり交通事故の原因となります。

[異常時の処置]

故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する

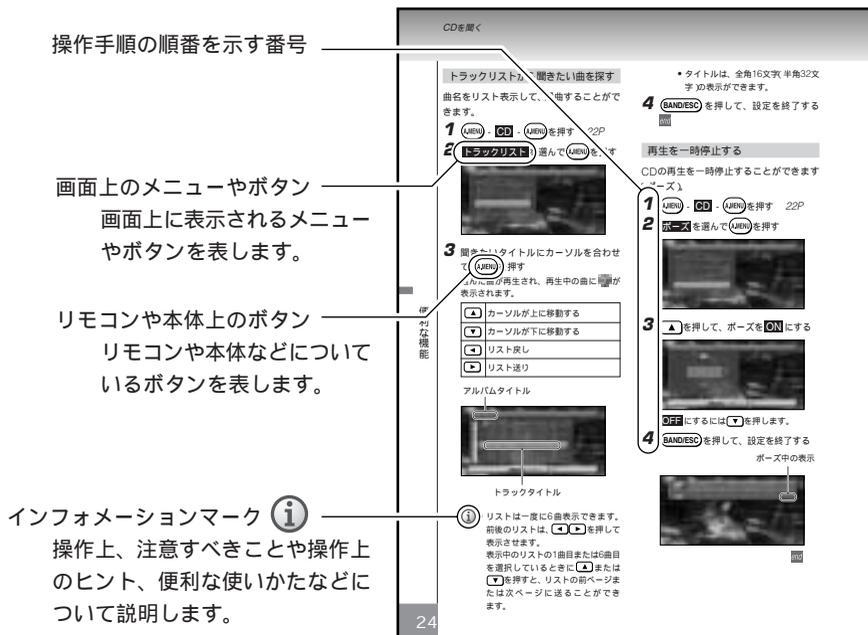


必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

本書の見かた

本書をお読みになる前に知っておいていただきたいことや、見たい項目の探しかたなどについて説明します。



ページ内の構成

本書は、操作方法などがわからなくなった場合に、知りたい情報を探しやすいように構成されています。

情報の探しかた

大見出しで探す

大見出しは主要機能で構成されています。目次を見て探してください。

中見出しで探す

中見出しは主要機能を実行するための各方法で構成されています。

中見出しは探しやすいように、ページをめくる側の全ページに入っています。

大見出し

ミュージックサーバーを利用する

ミュージックサーバーとは

ミュージックサーバーは、CDから録音した曲をいろいろな方法で再生することができます。ミュージックサーバーに録音された曲は、録音時に自動作成されたオリジナルプレイリストまたは、お好みに合わせて作成したユーザープレイリストにしたがって、再生することができます。

① CDを録音するには、録音モードを設定する必要があります。

- CD録音モードを設定する(36P)
- オリジナルプレイリストとユーザープレイリストは、プレイリスト名の頭につく文字で確認することができます。

オリジナルプレイリスト	プレイリスト名の頭にOriginal(オリジナル)のOが表示される
ユーザープレイリスト	プレイリスト名の頭にUが表示される

② ユーザープレイリストを作成することができます。
「新規のプレイリストを登録する」(38P)

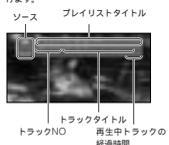
基本的なミュージックサーバーの聞きかた登録されている全プレイリストが再生されます。

- ① 全プレイリストが繰り返し再生されます。
- 再生順の順番や再生する曲の1曲の設定をすることができます。
- プレイリストの再生順序を変更する(35P) / 再生しないプレイリストを設定する(36P)
- 録音中に、ミュージックサーバーにソースを切り替えても、ミュージックサーバーの再生は行いません。録音中のCDの音声をお楽しみください。

中見出し

- 1 ジックサーバー)に切り替える
- 2 聞きたい曲を選ぶ
[A][B][C][D]を押して、選曲します。
[A] 前のプレイリストを選ぶとき
[B] 次のプレイリストを選ぶとき
[C] 前の曲を選ぶとき
[D] 次の曲を選ぶとき

早戻しする場合は、[C]をしばらく押し続けられます。
早送りする場合は、[D]をしばらく押し続けられます。



- 3 [SOURCE]を押して、ミュージックサーバーの再生をやめる
他のソースに切り替えるか、[OFF]が表示されるまで2秒以上押し続けてください。

ミュージックサーバーとは基本的なミュージックサーバーの聞きかた

すぐに使いたい場合は、この帯の付いている部分をお読みください。

endマーク **end**
操作手順の終わりを表します。

参照マーク **→**
参照していただきたい本文タイトルとページ、および他の説明書を導きます。

注意マーク **!**
安全のために、必ず守っていただきたいことです。
操作を行う状況において注意していただきたいことや、本製品の性能を維持するうえで注意していただきたいことについて説明します。

続きマーク **>>**
右ページにおいて、操作手順が次ページに続く場合を表します。

i 本書で使っている画面例は、実際の画面と異なることがあります。
実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。

目次

はじめに	安全のために必ずお守りください	2
	安全上のご注意	3
	本書の見かた	4
	はじめに	10
	リモコンの各ボタンの表記	10
再生できるディスクの種類	12	
ディスクの構成について	12	
基本	基本操作	13
	電源を入れる・切る	13
	映像の切り替えかた	13
	ソースを切り替える	13
テレビ	テレビを見る	15
	基本的なテレビの見かた	15
	記憶されたチャンネルの呼び出しかた	16
	プリセットの種類を選ぶ	16
	プリセットチャンネルを順に呼び出す	16
	プリセットチャンネルのリストから呼び出す	17
	便利な機能	17
	[TV]メニューを開く	17
	受信状態の良いチャンネルを自動的に記憶させる （BSSM）	17
	音声多重放送の副音声を聞く	18
手動でチャンネルを記憶させる （マニュアルプリセット）	19	

ビデオを見る	20
ビデオを見られるようにする	20
ビデオを見られるように設定する	20
ビデオを見る	20

CDを聞く	21
基本的なCDの聞きかた	21
便利な機能	22
[CD]メニューを開く	22
同じ曲を繰り返し聞く(リピート再生)	22
いつもと違う曲順で聞く(ランダム再生)	23
聞きたい曲を探す(スキャン再生)	23
トラックリストから聞きたい曲を探す	24
再生を一時停止する(ポーズ)	24

ミュージックサーバーを利用する	25
ミュージックサーバーとは	25
基本的なミュージックサーバーの聞きかた	25
聞きたい曲を曲名より選択して聞く	26
便利な機能	26
[ミュージックサーバー]メニューを開く	26
同じ曲を繰り返し聞く(リピート再生)	27
いつもと違う曲順で聞く(ランダム再生)	28
曲を検索して聞く(スキャン再生)	28
再生を一時停止する(ポーズ)	29
ミュージックサーバーに録音する	30
録音についてのご注意	30
CD録音モードを設定する	30
CD録音の制限について	31
CD再生中に自動的に録音する	32
手動によるCDの録音	32
CDの1曲目だけを自動的に録音する	32
プレイリストの編集	33
新規のプレイリストを登録する	33
プレイリストの情報を編集する	34
プレイリストの再生順番を変更する	35
プレイリストを消去する	35
再生しないプレイリストを設定する	36
プレイリストに曲を追加する	36
トラックの情報を編集する	37
曲の再生順番を変更する	38
曲を消去する	38
タイトル情報を取得する(タイトルサーチ)	39

映像を調整する	41
画質の調整をする	41
画面を切り替える	43

音の調整をする	47
音量を調整する	47
音声案内がよく聞こえるようにする	47
内蔵スピーカーの音声をON/OFFする	48
音声をFM付きカーステレオで聞く	48

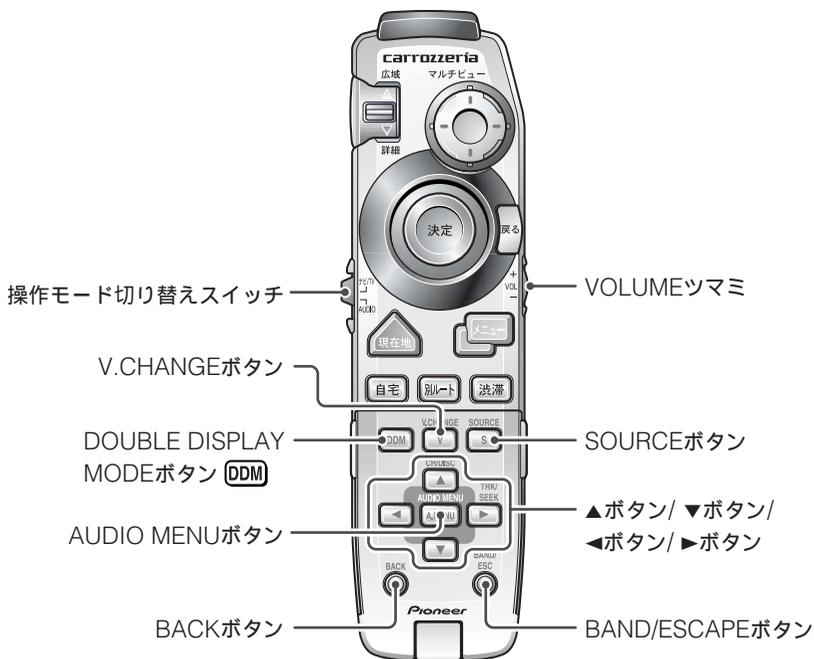
その他の機能と付録	50
音声で操作できる機能	50
リアモニターを組み合わせる	50
TVモニターの正しい使いかた	51
故障かな?と思ったら	52
こんなメッセージが表示されたら	55

索引	56
メニュー索引	56
用語索引	58

はじめに

リモコンの各ボタンの表記

手順説明では、操作に必要な各ボタンをイラスト表示や名称で表しています。お手持ちのリモコンで、ボタン位置などを確認しておいてください。



共通操作ボタン対応表

本書では、ナビゲーション本体に付属するリモコンとTVモニターに共通するボタンを、同じマークで表して操作説明をします。

ナビゲーション本体に 付属のリモコン	TVモニターのボタン	本書で使用する マーク
VOLUMEツマミ	VOLUMEボタン	
—	WIDE/DISPLAYボタン	
V.CHANGEボタン	V.CHANGEボタン	
SOURCEボタン	SOURCEボタン	
▲ボタン	AUDIO コントローラー/ ENTERボタンを上倒す	
▼ボタン	AUDIO コントローラー/ ENTERボタンを下倒す	
◀ボタン	AUDIO コントローラー/ ENTERボタンを左倒す	
▶ボタン	AUDIO コントローラー/ ENTERボタンを右倒す	
AUDIO MENU ボタン	AUDIO コントローラー/ ENTERボタンを押す	
BACKボタン	1	
BAND/ESCAPEボタン	BAND/ESCAPEボタン	

1 TVモニターのWIDE/DISPLAYボタンで、1つ前のメニュー画面に戻ることができます。

再生できるディスクの種類

下表のマークはディスクのタイトル面、パッケージ、またはジャケットに付いています。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ/再生面	最大再生時間
	CD 12cm/片面	74分
	CDシングル 8cm/片面	20分

- ① CD-TEXTは、再生することはできますが、タイトルなどの文字情報は表示できません。
- CD-Extraは、音楽CDとして再生することができます。
- Super Audio CDは、ハイブリッドディスクのCD層のみ再生することができます。
- ファイナライズしていないCD-R/CD-RWディスクは再生できません。
- PC(パソコン)で記録したCD-R/CD-RWディスクは、正しいフォーマットで記録されたものは再生できますが、アプリケーションソフトの設定や環境などによっては再生できない場合があります。(詳細については、アプリケーションソフト発売元にお問い合わせください。)
- ② ● 音楽用CDレコーダーで録音したものの以外のCD-R/CD-RWディスクは、正常に再生できない場合があります。
- 音楽用CDレコーダーで録音した音楽用CD-R/CD-RWディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- 本機はCD-R/CD-RWディスクのトラックスキップ機能に対応しています。スキップ指定された曲を飛ばして再生します。
- CD-RWディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rディスクより時間がかかります。
- CD-R/CD-RWディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。

ディスクの構成について

CDは、ディスクをトラックという単位で分けています。

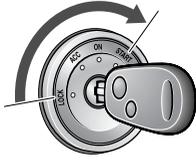
一般的には、1曲が1つのトラックに対応しています。また、さらにトラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります。



基本操作

電源を入れる・切る

1 車のエンジンをかける



本機に電源が入り、ソース画面が表示されます。

- ① ナビゲーション画面に切り替える場合は **[V]** を押してください。画面が切り替わります。
- 取り付け後の初めての起動ではナビゲーションの画面が出るまでに数秒かかったり、途中でOFFになりますが故障ではありません。

2 TVモニターの **[]** をしばらく押し続ける

TVモニターの電源が切れます。
TVモニターの電源が切れるとナビゲーションの音声案内は出力されません。

- ① もう一度 **[]** を押すと、TVモニターの電源が入ります。 **end**

映像の切り替えかた

映像を、ソース画面(テレビ、ビデオ)とナビゲーション画面で切り替えることができます。

- 1 **[V]** を押して、映像を切り替える
[V] を押すごとに、以下のように映像が切り替わります。

ソース画面 ↔ ナビゲーション画面



- ① ソース画面は、**[SOURCE]** で選ばれているソースの映像です。 **end**

ソースを切り替える

ソースを切り替えると、各ソースの状態が表示されます。この画面で、現在受信中のチャンネルなどを確認することができます。

- 1 **[SOURCE]** を押して、ソースを切り替える
[SOURCE] を押すごとに、以下のようにソースが切り替わります。



ナビゲーション画面のときは、**[SOURCE]** を押しても音声しか切り替わりません。選んだソースの映像を見たいときは、**[V]** を押してソース画面に切り替えてください。

つづく **[>>]**

電源を入れる・切る / 映像の切り替えかた / ソースを切り替える

- 1 [AV入力設定]でVTR1、VTR2をONにすると、VTR1、VTR2にも切り替わるようになります。「ビデオを見られるように設定する」(20P)
- 2 CDが挿入されていない場合は、[ディスクを挿入してください。]と表示されます。end

ソースをOFFにする

1 (SOURCE)をしばらく押し続ける

ソースがOFFになります。

もう一度(SOURCE)を押すと、OFFにする前のソース画面に戻ります。

- ① • ソースをOFFにしても、ナビゲーションの音声案内は流れます。
- リモコンのVOLUMEツマミを押して、ソースの音声のみON/OFFすることもできます。そのとき、表示が[(ソース名) + GUIDE]と[(ソース名)]で切り替わります。
「内蔵スピーカーの音声をON/OFFする」(48P) end

テレビを見る

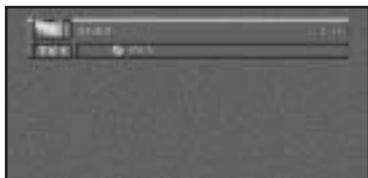
基本的なテレビの見かた

この操作をしていただくだけで、テレビを見ることができます。

1 **[SOURCE]** を押して、ソースを [TV] に切り替える

- i** 映像がナビゲーション画面のときに、ソースを [TV] にした場合は、音声のみ切り替わります。

2 **[V]** を押して、テレビの映像にする



[V] を押すごとに、以下のように映像が切り替わります。

テレビ↔ナビゲーション

3 **[BAND/ESC]** を押して、バンドを選ぶ



[BAND/ESC] を押すごとに、以下のようにバンドが切り替わります。

TV1↔TV2

- i** バンドごとに12個のチャンネルが用意されています。

4 **[◀▶]** を押して、チャンネルを選局する

[◀]	前のチャンネルを選ぶとき
[▶]	次のチャンネルを選ぶとき

手動選局（1ステップずつ）する場合は、**[◀▶]** を短めに押します。

自動選局する場合は、**[◀▶]** をしばらく押し続けます。ボタンを離れたところから、自動選局が始まります。



ステレオ表示

- i**
- 受信できるチャンネルは、1ch～62chです。
 - ステレオ放送を受信した場合は、[STEREO] が表示され、音声多重放送を受信した場合は、[BILINGUAL] が表示されます。
 - 電波の弱い地域では、テレビの映像が乱れる場合があります。
 - トンネル内や山かげ、ビルの谷間など、電波がさえぎられやすい場所では、テレビの映りが悪くなる場合があります。
 - 走行中にテレビの映像を見ることがや [オーディオメニュー] を開くことはできませんが、チャンネルを選局することはできます。（音声を聞くこともできます。）

→ バンドごとに12局までのチャンネルを記憶させることができます。

「受信状態の良いチャンネルを自動的に記憶させる」(17P)、
「手動でチャンネルを記憶させる」(19P)

end

記憶されたチャンネルの呼び出しかた

あらかじめ記憶されているチャンネルから、放送局を呼び出すことができます(プリセットチューニング)。

プリセットチューニングには、TVプリセットから呼び出す方法とエリアプリセットから呼び出す方法の2種類があります。

TVプリセットチャンネル

「受信状態の良いチャンネルを自動的に記憶させる」(17P)および「手でチャンネルを記憶させる」(19P)で記憶させたチャンネルです。

i TVプリセットチャンネルは、チャンネルをTV1とTV2の2つのバンドに分けて記憶させておくことができます。

便利な使い方：

ふだんお使いになっている地域のチャンネルはTV1に記憶させておきます。旅行などで受信チャンネルの異なる地域に移動したときに、TV2に切り替えてからチャンネルを記憶させます。ふだんお使いになるチャンネルの記憶はTV1に残ったままです。

エリアプリセットチャンネル

ナビゲーションがあらかじめ記憶している、エリア別のチャンネルです。現在地に応じたリストが自動的に選ばれます。遠くへ出かけるときなどに使うと便利です。

プリセットの種類を選ぶ

TVプリセットとエリアプリセットのどちらを使うか選びます。

1 (A.MENU) - TV - (A.MENU)を押す 17P

2 チャンネルリストを選んで(A.MENU)を押す

3 ◀ ▶を押して、好みのプリセット種類を選んで(BAND/ESC)を押す

プリセット種類



i エリアプリセットは、バンド切り替え/BSSM/マニュアルプリセットを行うと解除されます。 end

プリセットチャンネルを順に呼び出す

「プリセットの種類を選ぶ」で選んだプリセットから、1局ずつ順に呼び出します。

1 (BAND/ESC)を押して、バンドを選ぶ

i エリアプリセットからプリセットチャンネルを呼び出すときは、手順1は不要です。手順2から操作してください。

2 ▲ ▼を押して、チャンネルを呼び出す



プリセットチャンネル

▲	次のプリセットチャンネルを呼び出すとき
▼	前のプリセットチャンネルを呼び出すとき

end

プリセットチャンネルのリストから呼び出す

TVプリセットチャンネルまたはエリアプリセットチャンネルのリストを表示して、そこからチャンネルを呼び出します。

- 1 **(A.MENU)** - **TV** - **(A.MENU)** を押す
「[TV]メニューを開く」
- 2 **チャンネルリスト** を選んで **(A.MENU)** を押す



- 3 **(◀)** **(▶)** を押して、好みのプリセット種類を選ぶ
プリセット種類



- 4 **(▲)** **(▼)** を押して、見たいチャンネルを選んで **(A.MENU)** を押す

- ① エリアプリセット中にバンドを切り替えた場合は、TVプリセットに切り替わります。
- リスト表示されても、現在地の環境や電波状況によって、受信できない場合があります。

- 5 **(BAND/ESC)** を押して、設定を終了する
end

便利な機能

テレビを見る場合の詳細設定 (BSSM、音声多重設定、マニュアルプリセット) は、[TV]メニューで行います。

[TV]メニューを開く

- 1 テレビの画面、または音声のときに **(A.MENU)** を押す
[オーディオメニュー]が表示されます。
- 2 **(▲)** **(▼)** を押して、**TV** にカーソルを合わせる
- 3 **(A.MENU)** を押す
[TV]メニューが表示されます。



- ① メニューの操作が行われない場合は、約30秒後に元の画面に戻ります。
- ナビゲーションの音声案内中は、オーディオメニューは表示されません。 **end**

受信状態の良いチャンネルを自動的に記憶させる

バンドごとにチャンネルを12局まで、チャンネル番号の小さい順に記憶させることができます (BSSM)。

- 1 **(BAND/ESC)** を押して、チャンネルを記憶させるバンドを選ぶ

記憶されたチャンネルの呼び出しがた / 便利な機能

2 (A.MENU) - TV - (A.MENU) を押す 17P

3 BSSM を選んで (A.MENU) を押す



4 (▲) を押して、BSSM を開始する
BSSM中は点滅します。



(▼) を押すと、BSSMを中断します。

(i) 受信状態の良いチャンネルが12局より少ない場合は、前の記憶が残る場合があります。

5 (BAND/ESC) を押して、設定を終了する

(→) 記憶させたチャンネルの呼び出し方は、「プリセットチャンネルを順に呼び出す」(16P)、「プリセットチャンネルのリストから呼び出す」(17P)を参照してください。end

便利な機能

音声多重放送の副音声を聞く

音声多重放送(2カ国語放送)を受信しているときは、主音声(日本語)と副音声(外国語)を切り替えることができます。

(i) 音声多重放送の場合は、一般的に主音声を日本語、副音声を外国語で放送していますが、逆の場合もあります。

1 (A.MENU) - TV - (A.MENU) を押す 17P

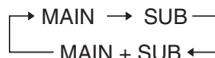
2 音声多重設定 を選んで (A.MENU) を押す



3 (◀) (▶) を押して、聞きたい音声を選ぶ



(◀) (▶) を押すごとに、以下のように切り替わります。



MAIN	主音声(日本語)
SUB	副音声(外国語)
MAIN + SUB	主・副音声(日本語 + 外国語)

4 (BAND/ESC) を押して、設定を終了する

end

手動でチャンネルを記憶させる

バンドごとにチャンネルを12局まで、手動で記憶させることができます(マニュアルプリセット)。

1 (A.MENU) — TV — (A.MENU) を押す 17P

2 マニュアルプリセット を選んで (A.MENU) を押す



3 (▲) (▼) を押して、記憶させたいプリセットNO.を選ぶ



4 (◀) (▶) を押して、チャンネルを選局する

(◀)	前のチャンネルを選ぶとき
(▶)	次のチャンネルを選ぶとき

i (◀) (▶) をしばらく押し続けると、受信できる周波数を自動的にさがします。

5 (A.MENU) を押して、受信チャンネルを記憶する



i 続けて手動でチャンネルを設定する場合は、手順3から繰り返してください。

6 (BAND/ESC) を押して、設定を終了する

→ 記憶させたチャンネルの呼び出し方は、「プリセットチャンネルを順に呼び出す」(16P)、「プリセットチャンネルのリストから呼び出す」(17P)を参照してください。 **end**

ビデオを見る

ビデオを見られるようにする

VTR1、VTR2に接続したポータブルビデオなどを見ることができます。

ビデオを見られるように設定する

接続したポータブルビデオなどを見られるように設定します。

i 初期設定では、[VTR1]、[VTR2]ともにOFFに設定されています。

1 各ソース画面で **(A.MENU)** を押す
[オーディオメニュー]が表示されます。

2 **システム設定** を選んで **(A.MENU)** を押す



3 **AV入力設定** を選んで **(A.MENU)** を押す

4 **(▲)** **(▼)** を押して、設定する項目にカーソルを合わせる



5 **(▶)** を押して、VTRを **ON** にする



(◀) を押すとOFFになります。

ON	ビデオの映像や音声に切り替わる
OFF	ビデオの映像や音声に切り替わらない

6 **(BAND/ESC)** を押して、設定を終了する
end

ビデオを見る

ビデオソースに切り替えて、ビデオ映像を見ます。

1 **(SOURCE)** を押して、ソースを [VTR1] または [VTR2] に切り替える



- i**
- [AV入力設定] で VTR1、VTR2 を ON にしないと、VTR1、VTR2 に切り替わりません。
 - 映像がナビゲーション画面のときに、ソースを [VTR1] または [VTR2] にした場合は、音声のみ切り替わります。
 - 映像をビデオにする場合は、**(V)** を押して切り替えます。 **end**

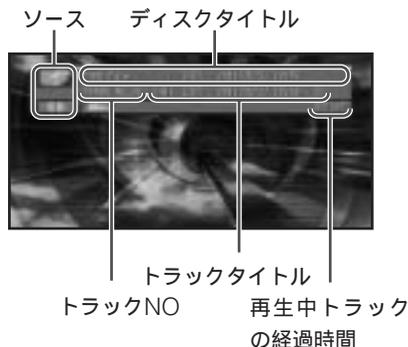
CDを聞く

基本的なCDの聞きかた

この操作をしていただくだけで、CDを聞くことができます。

1 ディスク挿入口に、タイトル面を上にしてCDを差し込む

自動的に再生が始まります。



- ① • ディスクを正しい方向で差し込んでください。
- ディスクを挿入すると、内蔵のデータベースからタイトル情報が取得できた場合は、タイトル名が表示されます。タイトル情報が取得できなかった場合は、[No Title]と表示されます。
- 既にCDが挿入されていて、他のソースからCDソースに切り替える場合は、**SOURCE**を押して、CDソースに切り替えます。
- ミュージックサーバーの出荷時の録音モードはオートです。再生したCDは、自動的に録音されません。

2 ◀ ▶ を押して、聞きたい曲を選ぶ

◀	前の曲を選ぶとき
▶	次の曲を選ぶとき

早戻しする場合は、◀をしばらく押し続けます。

早送りする場合は、▶をしばらく押し続けます。

- ① ミュージックサーバーに録音中または録音待機中の早送り/早戻しは、再生中の曲内に限られます。

3 ナビゲーション本体のディスク取り出しボタンを押してCDを取り出す

再生を中止して、CDが出てきます。

- ① • 出てきたCDはすぐに取り出して保管してください。
- CDをセットしたまま他のソースに切り替えることもできます。 **end**

便利な機能

CDを聞く場合の機能(リピート、ランダム、スキャン、トラックリスト、ポーズ)は、[CD]メニューで行います。

[CD]メニューを開く

- 1 CD再生中に(A.MENU)を押す
[オーディオメニュー]が表示されます。



- 2 (▲) (▼) を押して、[CD]にカーソルを合わせる

- 3 (A.MENU) を押す
[CD]メニューが表示されます。



- ① • メニューの操作が行われない場合は、約30秒後に元の画面に戻ります。
- ナビゲーションの音声案内中は、オーディオメニューは表示されません。 *end*

同じ曲を繰り返し聞く

現在再生中の曲を、繰り返し聞くことができます(リピート再生)。

- 1 (A.MENU) - [CD] - (A.MENU) を押す
「[CD]メニューを開く」

- 2 [リピート] を選んで (A.MENU) を押す



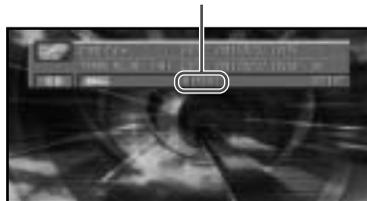
- 3 (▲) を押して、リピートを [ON] にする



[OFF] にするには (▼) を押します。

- 4 (BAND/ESC) を押して、設定を終了する

リピート再生中の表示



end

いつもと違う曲順で聞く

現在再生中のCDを、いつもと違う曲順で再生することができます(ランダム再生)。

1 (A.MENU) - **CD** - (A.MENU)を押す 22P

2 **ランダム**を選んで(A.MENU)を押す



3 (▲)を押して、ランダムを**ON**にする



OFFにするには(▼)を押します。

4 (BAND/ESC)を押して、設定を終了する

ランダム再生中の表示



end

聞きたい曲を探す

曲の始めの部分を、約10秒間ずつ聞くことができます(スキャン再生)。

1 (A.MENU) - **CD** - (A.MENU)を押す 22P

2 **スキャン**を選んで(A.MENU)を押す



3 (▲)を押して、スキャンを**ON**にする



OFFにするには(▼)を押します。

- i** • スキャン再生を始めてから約30秒で、通常画面に戻ります〔SCAN〕と表示されます。
- スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。

4 聞きたい曲が再生されたら、(▼)を押して、スキャンを**OFF**にする
スキャン設定画面が表示されていない場合は、手順1より行って、手順3でスキャンを**OFF**にします。

5 (BAND/ESC)を押して、設定を終了する

end

トラックリストから聞きたい曲を探す

曲名をリスト表示して、選曲することができます。

1 (A.MENU) - **CD** - (A.MENU)を押す 22P

2 **トラックリスト**を選んで(A.MENU)を押す



3 聞きたいタイトルにカーソルを合わせて、(A.MENU)を押す

選んだ曲が再生され、再生中の曲に  が表示されます。

	カーソルが上に移動する
	カーソルが下に移動する
	リスト戻し
	リスト送り

アルバムタイトル



トラックタイトル

- i** • リストは一度に6曲表示できます。前後のリストは、  を押して表示させます。表示中のリストの1曲目または6曲目を選択しているときに  または  を押すと、リストの前ページまたは次ページに送ることができます。

- タイトルは、全角16文字(半角32文字)の表示ができます。

4 (BAND/ESC) を押して、設定を終了する
end

再生を一時停止する

CDの再生を一時停止することができます(ポーズ)。

1 (A.MENU) - **CD** - (A.MENU)を押す 22P

2 **ポーズ**を選んで(A.MENU)を押す



3  を押して、ポーズを **ON** にする



OFF にするには  を押します。

4 (BAND/ESC) を押して、設定を終了する

ポーズ中の表示



end

ミュージックサーバーを利用する

ミュージックサーバーとは

ミュージックサーバーは、CDから録音した曲をいろいろな方法で再生することができます。ミュージックサーバーに録音された曲は、録音時に自動作成されたオリジナルプレイリストまたは、お好みに合わせて作成したユーザープレイリストにしたがって、再生することができます。

i • CDを録音するには、録音モードを設定する必要があります。

「CD録音モードを設定する」(30P)

- オリジナルプレイリストとユーザープレイリストは、プレイリスト名の頭につく文字で確認することができます。

オリジナルプレイリスト	プレイリスト名の頭にOriginal(オリジナル)の「O」が表示される
ユーザープレイリスト	プレイリスト名の頭にUser(ユーザー)の「U」が表示される

→ ユーザープレイリストを作成することができます。

「新規のプレイリストを登録する」(33P)

基本的なミュージックサーバーの聞きかた

登録されている全プレイリストが再生されます。

i • 全プレイリストが繰り返し再生されます。
• 再生順の編集や再生をする/しないの設定をすることができます。

「プレイリストの再生順番を変更する」(35P)、「再生しないプレイリストを設定する」(36P)

- 録音中に、ミュージックサーバーにソースを切り替えても、ミュージックサーバーの再生は行えません。録音中のCDの音声をお楽しみください。

1 **SOURCE** を押して、ソースを[ミュージックサーバー]に切り替える

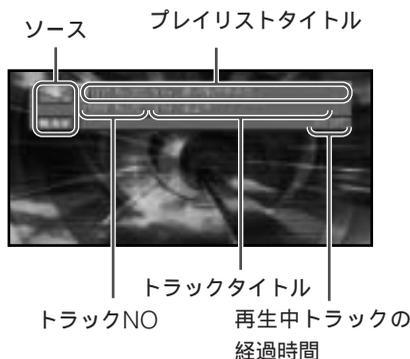
2 聞きたい曲を選ぶ

▲ ▼ ◀ ▶ を押して、選曲します。

▲	前のプレイリストを選ぶとき
▼	次のプレイリストを選ぶとき
◀	前の曲を選ぶとき
▶	次の曲を選ぶとき

早戻しする場合は、**◀** をしばらく押し続けます。

早送りする場合は、**▶** をしばらく押し続けます。



3 **SOURCE** を押して、ミュージックサーバーの再生をやめる

他のソースに切り替えるか、[OFF]と表示されるまで2秒以上押し続けてください。

end

聞きたい曲を曲名より選択して聞く

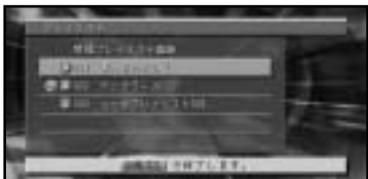
プレイリスト内から聞きたい曲を選択して再生することができます。

1 (A.MENU) - **ミュージックサーバー** - (A.MENU) を押す 「[ミュージックサーバー]メニューを開く」

2 **プレイリスト** を選んで (A.MENU) を押す



3 (▲) (▼) で聞きたい曲が登録されているプレイリストを選んで (A.MENU) を押す



再生中のプレイリストには、(A.MENU) が表示されます。

4 **トラック選択** を選んで (A.MENU) を押す



5 聞きたい曲を選んで (A.MENU) を押す



6 **再生** を選んで (A.MENU) を押す
 選択した曲が再生され、再生中の曲に (A.MENU) が表示されます。



end

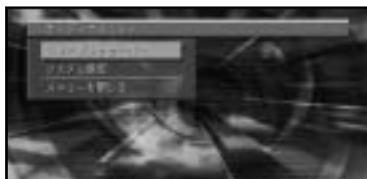
便利な機能

[ミュージックサーバー]メニューから音楽を聞く操作をしたり、詳細な設定をすることができます。

[ミュージックサーバー]メニューを開く

1 (SOURCE) を押して、ソースを[ミュージックサーバー]に切り替える

2 (A.MENU) を押す
 [オーディオメニュー]が表示されます。



3 (▲) (▼) を押して、**ミュージックサーバー** にカーソルを合わせる

基本的なミュージックサーバーの聞きかた/便利な機能

4 (A.MENU)を押す

[ミュージックサーバー]メニューが表示されます。



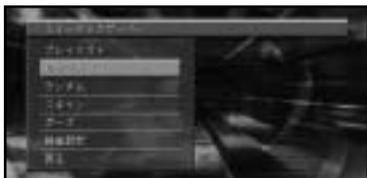
- ① ●メニューの操作が行われない場合は、約30秒後に元の画面に戻ります。
- ナビゲーションの音声案内中は、オーディオメニューは表示されません。 **end**

同じ曲を繰り返し聞く

再生中のプレイリストまたは、曲を繰り返し再生することができます(リピート再生)。

1 (A.MENU) - ミュージックサーバー - (A.MENU)を押す 26P

2 リピート を選んで (A.MENU)を押す



3 (▲) (▼)を押して、リピートを設定する

(▲) (▼)を押すごとに、次のように切り替わります。

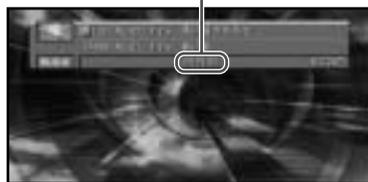


PLAYLIST REPEAT	現在再生中のプレイリストをリピートする
REPEAT	現在再生中の曲をリピートする
OFF	リピートを取り消す



4 (BAND/ESC)を押して、設定を終了する

リピート再生中の表示



① リピート再生中に以下の操作を行うと、リピート再生が中止されます。

- ランダム再生
- スキャン再生
- プレイリストからの選曲による再生
「聞きたい曲を曲名より選択して聞く(26P)」
- プレイリストの切り替え
- 曲の切り替え **end**

いつもと違う曲順で聞く

再生中のプレイリスト内の曲または、全プレイリストの曲を、ランダムな曲順で再生することができます(ランダム再生)。

1 (A.MENU) - **ミュージックサーバー** - (A.MENU)
を押す 26P

2 **ランダム** を選んで (A.MENU) を押す



3 (▲) (▼) を押して、ランダムを設定する
(▲) (▼) を押すごとに、次のように切り替わります。

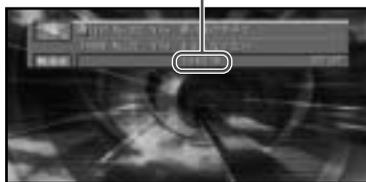


PLAYLIST RANDOM	すべてのプレイリストをランダム再生する
RANDOM	現在再生中のプレイリストをランダム再生する
OFF	ランダム再生を取り消す



4 (BAND/ESC) を押して、設定を終了する

ランダム再生中の表示



i ランダム再生中に以下の操作を行うと、ランダム再生が中止されます。

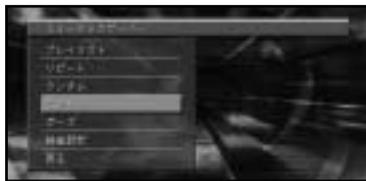
- リピート再生
- スキャン再生
- プレイリストからの選曲による再生
「聞きたい曲を曲名より選択して聞く」(26P)
- プレイリストの切り替え **end**

曲を検索して聞く

再生中のプレイリスト内の曲または、全プレイリストの先頭の曲の始めの部分を、約10秒間ずつ聞くことができます(スキャン再生)。

1 (A.MENU) - **ミュージックサーバー** - (A.MENU)
を押す 26P

2 **スキャン** を選んで (A.MENU) を押す



3 **▲** **▼** を押して、スキャンを設定する
▲ **▼** を押すごとに、次のように切り替わります。



PLAYLIST SCAN	全プレイリストの先頭の曲の始めの部分を再生する
SCAN	現在再生中のプレイリストの全曲の始めの部分を再生する
OFF	スキャン再生を取り消す



- ① スキャン再生を始めてから約30秒で、通常画面に戻ります([SCAN] と表示されます)。
- スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。

4 聞きたい曲が再生されたら **▲** **▼** を押して **OFF** にする

- ① スキャン設定画面が表示されていない場合は、手順1より行って手順3で **OFF** にします。

5 **BAND/ESC** を押して、設定を終了する

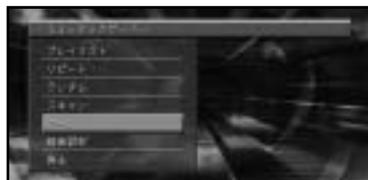
- ① スキャン再生中に以下の操作を行うと、スキャン再生が中止されます。
 - リピート再生
 - ランダム再生
 - プレイリストからの選曲による再生
 「聞きたい曲を曲名より選択して聞く」(26P)
 - 曲の切り替え
 - プレイリストの切り替え
 - ソースの切り替え
 - 電源OFF(エンジンOFF) *end*

再生を一時停止する

再生を一時停止することができます(ポーズ)。

1 **A.MENU** - **ミュージックサーバー** - **A.MENU** を押す 26P

2 **ポーズ** を選んで **A.MENU** を押す



つづく >>

3 **▲**を押して、ポーズを**ON**にする



OFFにするには**▼**を押します。

4 **BAND/ESC**を押して、設定を終了する

ポーズ中の表示



- i** 一時停止中に、プレイリストからの選曲による再生(「聞きたい曲を曲名より選択して聞く(26P)を行うと、ポーズは、解除されます。 **end**

ミュージックサーバーに録音する

録音についてのご注意

録音する前に必ずお読みください。

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前に試し録りをしてください。
- 本製品の故障、誤動作または不具合により、録音されなかった場合の録音内容、および消失した録音データの補償については、ご容赦ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、デジタル録音機器の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

お問い合わせ先：

社団法人 私的録音補償金管理協会
 東京都新宿区西新宿3丁目20番2号
 東京オペラシティタワー11F
 電話 03 6353-0336
 FAX 03 6353-0337

CD録音モードを設定する

CDの録音モードを設定することができます。

- いろいろな方法で録音することができます。

- 「CD再生中に自動的に録音する(32P)」
- 「手動によるCDの録音(32P)」
- 「CDの1曲目だけを自動的に録音する(32P)」

- 1** **A.MENU** - **ミュージックサーバー** - **A.MENU**
 を押す 26P

2 録音設定を選んで(A.MENU)を押す



3 CD録音モードを選んで(A.MENU)を押す



4 ▲▼を押して、録音モードを設定する

▲▼を押すごとに、次のように切り替わります。

オート→マニュアル→シングル

オート	CDを再生しながら自動的にミュージックサーバーへ録音する
マニュアル	CDを再生しながら手動でミュージックサーバーへ録音する
シングル	CDの1曲目だけを自動的にミュージックサーバーへ録音する



5 BAND/ESCを押して、設定を終了する

end

CD録音の制限について

すべてのモード

- ソースをOFFにすると、録音を中止します。
- 録音中は、本機の操作に時間がかかることがあります。

オート/シングルモード

- すでに録音済みの曲は、同じCDから重複して録音できません。
- CD以外のソースに切り替えても、CDは停止せず、裏で録音を続けます。ただし、**録音/閉路**を押すと、録音が中止されます。
- エンジンをOFFにすると、録音中の曲が消去されます。次回エンジンをONにすると、エンジンをOFFにしたときに録音していた曲の始めから録音を開始します(ソースがCDの時に限る)。
- CDを取り出すと、録音中の曲が消去されます。
- 選曲/早送り/早戻しすると、録音中の曲が消去され、次の曲から録音を開始します(オートモードのみ)。
- スキャン/一時停止すると、録音を中止します。
- 録音モードを切り替えると、録音を中止します。
- 家庭用CDレコーダーで録音したCD-Rなど、コピー禁止のディスクからは録音できません。
- 音飛びなどのエラーが検出されると、録音中の曲が消去され、次の曲から録音を開始します(オートモードのみ)。
- ミュージックサーバーの録音可能時間が、録音する曲の時間より短い場合は、録音されません。

マニュアルモード

- ソースを切り替えると、録音を中止します。
- CD録音モードをオートに切り替えると、次の曲から録音を開始します。
- CD録音モードをシングルに切り替えると、次の曲がトラック1のときのみ録音を開始します。
- ミュージックサーバーの録音可能時間を超えると、その時点で録音を中止します。

CD再生中に自動的に録音する

CDを再生しながら自動的にミュージックサーバーへ録音します。

➡ 録音モードの設定によって録音方法を選択することができます。

「CD録音モードを設定する」(30P)

- ① どのソースを聞いている時でも、録音を停止する場合は(録音/削除)を押します。
- 録音中にミュージックサーバーにソースを切り替えても、ミュージックサーバーの再生は行えません。

1 「CD録音モードを設定する」(30P)の録音モードを**オート**に設定する

2 CDを再生する

➡ 「基本的なCDの聞きかた」(21P)を参照してください。

録音中の表示(赤色)



再生されている曲がすでに録音済みでも、まだ録音されていない曲がある場合は、録音待機状態を示す青色になります。end

手動によるCDの録音

CDの曲を、手動でミュージックサーバーへ録音します。

➡ 録音モードの設定によって録音方法を選択することができます。

「CD録音モードを設定する」(30P)

- ① 録音中にミュージックサーバーにソースを切り替えても、ミュージックサーバーの再生は行えません。

1 「CD録音モードを設定する」(30P)の録音モードを**マニュアル**に設定する

2 CD再生中、録音する曲で(録音/削除)を押す
録音する曲の始めに戻って、録音を開始します。

録音中の表示(赤色)



- ① どのソースを聞いている時でも、録音を停止する場合は(録音/削除)を押します。

end

CDの1曲目だけを自動的に録音する

CDの1曲目だけを自動的にミュージックサーバーへ録音します。

➡ 録音モードの設定によって録音方法を選択することができます。

「CD録音モードを設定する」(30P)

- ① どのソースを聞いている時でも、録音を停止する場合は(録音/削除)を押します。
- 録音中にミュージックサーバーにソースを切り替えても、ミュージックサーバーの再生は行えません。

1 「CD録音モードを設定する」(30P)の録音モードを**シングル**に設定する

2 CDを再生する

➡ 「基本的なCDの聞きかた」(21P)を参照してください。

録音中の表示(赤色)



end

プレイリストの編集

新規のプレイリストを登録する

新しいプレイリストを登録します。
いろいろな方法で曲を検索して、プレイリストに登録することができます。

1 (A.MENU) - ミュージックサーバー - (A.MENU) - プレイリスト - (A.MENU) を押す 26P

2 新規プレイリスト登録 を選んで (A.MENU) を押す
再生中のマーク



i • プレイリストの種類には、オリジナルプレイリストとユーザープレイリストがあります。

O	オリジナルプレイリスト 録音時に自動的に作成される。プレイリスト名の頭にOriginal(オリジナル)の「O」が表示される
U	ユーザープレイリスト ユーザーが編集を行ったプレイリスト。プレイリスト名の頭にUser(ユーザー)の「U」が表示される

- 再生不許可が設定されているプレイリストには、が表示されます。
「再生しないプレイリストを設定する」(36P)
- プレイリストは、999個まで作成可能です。

3 新規トラック登録 を選んで (A.MENU) を押す



4 登録したい曲の検索方法を選んで (A.MENU) を押す

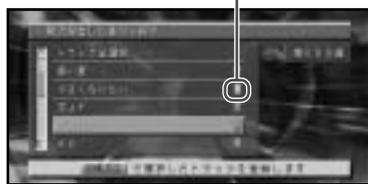
i 登録する曲の検索方法には以下の種類があります。

- プレイリストから探す
- アーティストで探す
- ジャンルで探す
- 最近録音した曲から探す

5 登録したい曲のある項目を選んで (A.MENU) を押す

6 登録する曲を選んで (A.MENU) を押し、ランプを点灯状態にする

選択するとランプが点灯する



- i** • **トラック全選択** を選んだ場合は、表示されている曲が全て選択されます。ただし、既に全て選択されている場合は、全ての選択を解除します。
- 全て選択する対象が99曲以上ある場合は、先頭から99曲までが選択されます。

つづく 

7 **BAND/ESC** を押して、選択した曲を登録する

i 最近録音した曲から探したい場合は、検索方法を選択(手順4)した後、トラッカー一覧画面(手順6)になります。**end**

プレイリストの情報を編集する

登録されているプレイリストの情報を表示させて編集します。

1 **A.MENU** - **ミュージックサーバー** - **A.MENU** - **プレイリスト** - **A.MENU** を押す 26P

2 情報を編集したいプレイリストを選んで **A.MENU** を押す

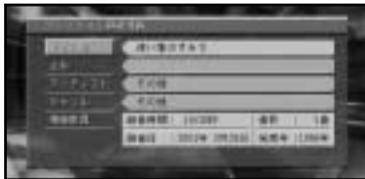
3 **リスト情報** を選んで **A.MENU** を押す



4 編集したい項目を選んで **A.MENU** を押す

i **録音時間**、**曲数**、**録音日**、**発売年** は、編集できません。

タイトル、よみ	文字入力画面になる
アーティスト	マニュアル入力 : 文字入力画面になる リスト選択 : アーティスト一覧画面になる
ジャンル	ジャンル選択画面になる



入力や選択が終了すると、プレイリスト情報画面に戻ります。

↔ 文字の入力方法は『ナビゲーションブック』「文字の入力操作」を参照してください。

- i** **タイトル**、**アーティスト**(**マニュアル入力**)は、全角16文字(半角32文字)まで入力できます。
- よみ** は、ひらがなを32文字まで入力できます。
- アーティスト**(**リスト選択**)、**ジャンル** は、項目を選んで **A.MENU** を押します。

5 **BAND/ESC** を押して、編集を終了する **end**

プレイリストの再生順番を変更する

プレイリストを再生する順番を変更します。

i 通常の再生では、プレイリストの順番に繰り返し再生します。

1 (A.MENU) - **ミュージックサーバー** - (A.MENU)
- **プレイリスト** - (A.MENU)を押す 26P

2 順番を変更したいプレイリストを選んで (A.MENU)を押す

3 **再生順番変更**を選んで (A.MENU)を押す



4 (▲) (▼)を押して、並び替えたい位置に [挿入位置] を合わせて、(A.MENU)を押す

(▲)	[挿入位置] が上に移動する
(▼)	[挿入位置] が下に移動する



- i** 移動対象のプレイリストは緑色で表示されます。
- 挿入したい位置を選択して (A.MENU) を押すと、プレイリストの画面に戻ります。

5 (BAND/ESC) を押して、編集を終了する
end

プレイリストを消去する

いらなくなったプレイリストを消去します。

i • プレイリストの種類により消去されるデータが異なります。

オリジナルプレイリスト	プレイリスト内のトラックデータも消去する
ユーザープレイリスト	プレイリストのみ消去する。トラックデータは消去しない

• 再生中のプレイリストは、消去できません。

1 (A.MENU) - **ミュージックサーバー** - (A.MENU)
- **プレイリスト** - (A.MENU)を押す 26P

2 消去したいプレイリストを選んで (A.MENU)を押す

3 **消去**を選んで (A.MENU)を押す



4 (A.MENU)を押す
消去しないときは (BACK) を押します。 end

再生しないプレイリストを設定する

再生しないプレイリスト(再生不許可)を設定することができます。

- i** 通常の再生をした場合、再生不許可に設定したプレイリストは飛ばします。
- プレイリスト一覧では、プレイリストに  が表示されます。

1 (A.MENU) - **ミュージックサーバー** - (A.MENU) - **プレイリスト** - (A.MENU)を押す 26P

2 再生しないプレイリストを選んで(A.MENU)を押す

3 **再生不許可**を選んで(A.MENU)を押す



再生不許可の設定は、画面で確認できます。
再生不許可の表示



- i** 再生不許可を再生許可に変更するには、手順1~2で再生不許可に設定したプレイリストを選んだ後、手順3で**再生許可**を選んで(A.MENU)を押します。end

プレイリストに曲を追加する

プレイリストに曲を追加します。
曲の追加ができるのは、ユーザープレイリスト(プレイリスト名の頭にUが付いているもの)のみです。

いろいろな方法で曲を検索して、曲を追加することができます。

- i** 追加する曲の検索方法には以下の種類があります。
- プレイリストから探す
 - アーティストで探す
 - ジャンルで探す
 - 最近録音した曲から探す

1 (A.MENU) - **ミュージックサーバー** - (A.MENU) - **プレイリスト** - (A.MENU)を押す 26P

2 曲を追加したいユーザープレイリストを選んで(A.MENU)を押す

3 **トラック選択**を選んで(A.MENU)を押す



4 **新規トラック登録**を選んで(A.MENU)を押す

5 「新規のプレイリストを登録する(33P)」の手順5以降を参照して操作する end

トラックの情報を編集する

登録されているトラックの情報を表示させて編集します。

1 (A.MENU) - **ミュージックサーバー** - (A.MENU)
- **プレイリスト** - (A.MENU)を押す 26P

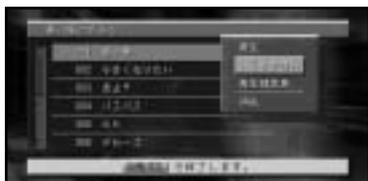
2 編集したいトラックが登録されているプレイリストを選んで、(A.MENU)を押す

3 **トラック選択**を選んで(A.MENU)を押す



4 編集したいトラックを選んで(A.MENU)を押す

5 **トラック情報**を選んで(A.MENU)を押す



6 編集したい項目を選んで (A.MENU) を押す
 ⓘ **録音ソース**、**録音時間**、**録音日** は、編集できません。

タイトル 、 よみ	文字入力画面になる
アーティスト	マニュアル入力 : 文字入力画面になる リスト選択 : アーティスト一覧画面になる
ジャンル	ジャンル選択画面になる



7 選んだ項目を編集する

入力が終了すると、トラック情報画面に戻ります。

➡ 文字の入力方法は『ナビゲーションブック』「文字の入力操作」を参照してください。

- ⓘ **タイトル**、**アーティスト**(**マニュアル入力**)は、全角16文字(半角32文字)まで入力できます。
- **よみ** は、ひらがなを32文字まで入力できます。
- **アーティスト**(**リスト選択**)、**ジャンル** は、項目を選んで(A.MENU)を押します。



8 **BAND/ESC** を押して、編集を終了する

end

曲の再生順番を変更する

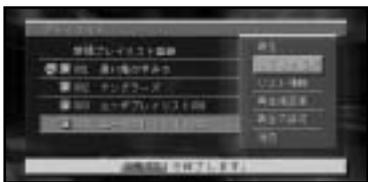
- ➡ プレイリスト内の曲の順番を変更することもできます。

「プレイリストの再生順番を変更する」
(35P)

1 (A.MENU) - **ミュージックサーバー** - (A.MENU)
- **プレイリスト** - (A.MENU)を押す 26P

2 順番を変更したい曲が登録されているプレイリストを選んで、(A.MENU)を押す

3 **トラック選択**を選んで(A.MENU)を押す



4 順番を変更したい曲を選んで(A.MENU)を押す

5 **再生順変更**を選んで(A.MENU)を押す



6 (▲) (▼)を押して、並び替えたい位置
[挿入位置]を合わせて、(A.MENU)を押す

(▲)	[挿入位置]が上に移動する
(▼)	[挿入位置]が下に移動する



(i) • 移動対象のトラックは、緑色で表示されています。

• 挿入したい位置を選んで(A.MENU)を押すと、トラックリストの画面に戻ります。

7 (BAND/ESC)を押して、編集を終了する
end

曲を消去する

いらなくなった曲を消去します。

(i) 再生中のトラックは、消去できません。

➡ プレイリストごと消去することもできます。

「プレイリストを消去する」(35P)

1 (A.MENU) - **ミュージックサーバー** - (A.MENU)
- **プレイリスト** - (A.MENU)を押す 26P

2 消去したい曲が登録されているプレイリストを選んで、(A.MENU)を押す

3 **トラック選択**を選んで(A.MENU)を押す



4 消去したいトラックを選んで(A.MENU)を押す

5 消去を選んで(A.MENU)を押す



6 (A.MENU)を押す

消去しないときは(BACK)を押します。end

タイトル情報を取得する

CDから録音されたプレイリストのタイトル情報を、本機内蔵またはインターネットのGracenote CDDDBのデータベース¹から取得することができます(タイトルサーチ)。タイトル情報を取得することにより、ミュージックサーバーの曲の検索などをスムーズに行うことができます。

i 以下の情報を取得することができます。

- ・アルバムタイトル
- ・アルバムタイトルのみ
- ・アルバムのアーティスト
- ・アルバムのジャンル
- ・アルバムの発売年
- ・トラックタイトル

- ・トラックタイトルののみ
- ・トラックのアーティスト
- ・トラックのジャンル
- タイトル情報の取得は、通信で探す方法とHDD(ハードディスク)から探す方法があります。
- 通信で探すには、本機に携帯電話が接続されており、インターネットに接続可能な状態である必要があります。
- 通信で探すときに携帯電話が接続されていないと、[電話が接続されていません。接続を確認してください。]のメッセージが表示され、タイトルサーチできません。
- 通信で探すときにナビゲーション側で通信機能を使用している場合は、[通信中はタイトルサーチできません。]のメッセージが表示され、タイトルサーチできません。

¹Gracenote is CDDDB, Inc. d/b/a "Gracenote." CD-related data from Gracenote CDDDB®, copyright 1999, 2000 Gracenote. Gracenote CDDDB Client Software, copyright 1999, 2000 CDDDB, Inc. U.S.特許番号 No.5,987,525; No.6,061,680; No.6,154,773他、特許発行済み/申請中。

CDDDBはGracenoteの登録商標です。CDDDB, the Gracenote logo, Gracenote CDDDB Logo, Meta-Database、そして the Gracenote Logoは、Gracenoteの登録商標です。音楽認識技術とMRSは、Gracenoteのサービス商標です。

つづく >>

Gracenote CDDDBはパブリックなデータベースですので、本機内蔵のデータベース、インターネットのデータベースともに、データの内容を100%保証するものではありません。

Gracenote CDDDBのインターネットのデータベースは、メンテナンス等により予告なく停止することがあります。

本商品を利用してのGracenote CDDDBのインターネットのデータベースへのアクセスは、2003年3月までご利用できます。

音楽認識技術とMeta-Database™は、GracenoteとThe Gracenote CDDB® Music Recognition Serviceが提供しています。Gracenoteは、音楽認識技術及び関連コンテンツ配信分野での業界標準です。更に詳しい情報は、以下のWWWサイトにてご確認くださいませ。
<http://www.gracenote.com>



1 (A.MENU) - ミュージックサーバー - (A.MENU) - プレイリスト - (A.MENU) を押す 26P

2 情報を取得したいプレイリストを選んで (A.MENU) を押す



3 リスト情報 を選んで (A.MENU) を押す



4 情報取得 を選んで (A.MENU) を押す



5 情報の取得方法を選んで (A.MENU) を押す

通信で探す	携帯電話を使った通信により、Gracenote CDDBのインターネットのデータベースから情報を取得する
HDDから探す	本機内蔵のHDD(ハードディスク)に収納されているデータベースから情報を取得する



6 登録したいタイトルを選んで (A.MENU) を押す



該当タイトルなし を選ぶと、タイトルは登録されません。[プレイリスト情報]画面からタイトルを選んで、好みのタイトルを入力してください。

「プレイリストの情報を編集する(34P)」

- (決定) を押すとデータが書き込まれます。データの書き込み中は再生が停止しますが、書き込みが終了すると、再生を再開します。
- データ書き込み中は、CDやミュージックサーバーなどの再生や録音は動作しません。 end

映像を調整する

画質の調整をする

黒の濃さやコントラストを調整する

映像の黒の濃さ、明暗（コントラスト）を変更することができます。

- i** ● 外光センサーで周囲の明るさを感知し、明るいとき（昼間）と、周囲が暗いとき（夜間）の調整内容を別々に設定することができます。
- 周囲の明るさの変化にともない、この設定が自動的に切り替わります。
- テレビ、ビデオの映像で別々に設定内容を記憶します。
- ナビゲーションの映像でも設定内容を記憶します。

1 調整したい映像の表示画面で、TVモニターの **WIDE** をしばらく押し続ける [画質調整] メニューが表示されます。

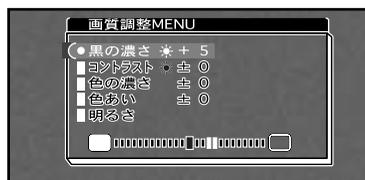
- i** 約30秒間何も操作しないと自動的に [画質調整] メニューは解除されます。

2 **黒の濃さ** または **コントラスト** を選ぶ



▲	上の項目を選ぶとき
▼	下の項目を選ぶとき

3 **◀▶** を押して、設定を調整する



TVモニター前面の外光センサーが、周囲の明るさを感知し、現在の明るさを示すマークが画面に表示されます。

☾（青）：暗いとき（夜間）

☀（黄）：明るいとき（昼間）

ボタン	黒の濃さ	コントラスト
◀	薄くなる	白黒の差が小さくなる (暗くなる)
▶	濃くなる	白黒の差が大きくなる (明るくなる)

- i** -24 ~ +24の範囲で設定が可能です。

4 **BAND/ESC** を押して、調整を終了する
end

色の濃さや色あいを調整する

お好みに合わせて、映像の色の濃さ、色あいを変更することができます。

- ① • テレビ、ビデオ等の映像で別々に設定内容を記憶します。
- ナビゲーションの映像では、調整できません。

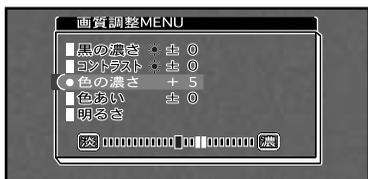
1 調整したい映像の表示画面で、TVモニターの**WIDE**をしばらく押し続ける
[画質調整]メニューが表示されます。

2 色の濃さ または 色あいを 選ぶ



▲	上の項目を選ぶとき
▼	下の項目を選ぶとき

3 ◀ ▶ を押して、設定を調整する



ボタン	色の濃さ	色あい
◀	薄くなる	赤が強くなる
▶	濃くなる	緑が強くなる

① - 24 ~ +24の範囲で設定が可能です。

4 BAND/ESC を押して、調整を終了する

end

液晶画面の明るさを調整する

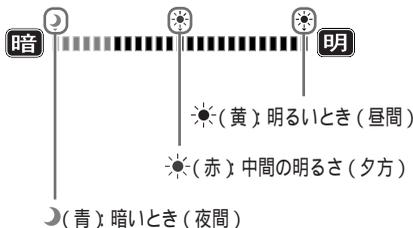
夜間、周囲が暗くなってくると、画面が明るすぎて表示されている映像が見えにくくなってしまうことがあります。本機は、周囲の明るさに合わせて、液晶画面の明るさを自動的に調整します(3点式インテリジェントディマー)。その自動的に調整される明るさを好みに合わせて、設定しておくことができます。

1 調整したい映像の表示画面で、TVモニターの**WIDE**をしばらく押し続ける
[画質調整]メニューが表示されます。

2 ▼ を押して、明るさを 選ぶ



TVモニター前面の外光センサーが、周囲の明るさを感知して、現在の周囲の明るさ(外光レベル)をマークの色、形、および位置で表示します。



- ① • 明るさを調整するときに基準となる外光レベルは、手順3で示すマークとその位置で表示されます。
- 黒の濃さやコントラストを調整するときのマークと異なる場合があります。

3 ◀ ▶ を押して、明るさを調整する

◀	画面を暗くするとき
▶	画面を明るくするとき



レベルは調整している画面の明るさを表します。右に伸びるほど、明るくなります。

この画面では、暗いとき(☾)の画面の明るさの設定を調整しています。

- ① 現在の外光レベルに設定されている画面の明るさが調整されます。
- 暗い、中間、明るい、それぞれの外光レベルで調整でき、別々に記憶されます。

4 BAND/ESC を押して、調整を終了する

- ① 明るさ の設定内容は、[画質調整]メニューが解除されるときに記憶されます。

明るさを調整後、車のエンジンを切ったり電源をOFFしたりするときは、[画質調整]メニューを解除してから行ってください。end

画面を切り替える

2画面表示させる

画面を2分割して、ソース画面(テレビ、ビデオ)とナビゲーション画面を同時に表示することができます(ピクチャーサイドピクチャー)。

- 1 テレビ、ビデオ、ナビゲーションのいずれかの映像画面で、**DDM**を押す
DDMを押すごとに以下のようにモードが切り替わります。

1画面



ピクチャーサイドピクチャー

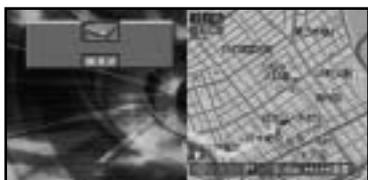


- ① 2画面とも同じ画面にすることはできません。
- ソース画面どうし(ビデオとテレビ)の2画面表示はできません。
- ナビゲーション画面から**DDM**を押すと、現在選ばれているソースとの2画面表示になります。
- ピクチャーサイドピクチャーでは、ナビゲーションの操作をしやすいするため、一時的にナビゲーション画面だけになる(1画面になる)ことがあります。end

2画面表示の左右を入れ替える

画面を2分割している場合は、左右の画面を入れ替えることができます。

- 1 2画面表示で、**[V]**を押す
[V]を押すごとに左右の画面が入れ替わります。



- 1画面表示のときに**[V]**を押した場合は、ナビゲーション画面と切り替わります。 **end**

ワイド画面の拡大方法を切り替える

通常の映像を、ワイド映像に拡大する方法を選択することができます。

- 1 通常映像は縦横比4 : 3、ワイド映像は縦横比16 : 9です。
 - テレビとビデオ映像で設定内容が別々に記憶されます。
 - ナビゲーション、CDまたはミュージックサーバーの映像は、ワイドモードの切り替えはできません。

- 1 テレビまたはビデオの映像画面を表示させる

2画面表示にしているときは、1画面で表示させてください。

- 2 **[WIDE]**を押して、ワイドモードを切り替える

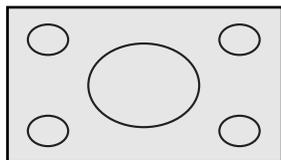


[WIDE]を押すごとに、以下のようにワイドモードが切り替わります。



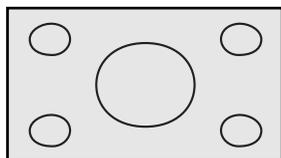
- 1 通常のテレビ放送の番組をズーム、ノーマル以外の、映像の縦横比が異なるモードを選ぶと、本来の映像と見えかたに差がでます。
 - シネマ、ズームで映像を見るときは、画質が粗くなります。
 - 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り替え機能を利用すると（フル、ズームなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと）、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。
- 1画面表示のときに設定したワイドモードの映像になります。
 - 2画面で表示しているときは、ワイドモードの切り替えはできません。
 - [オーディオメニュー]を表示しているときは、常にフルになります。（テレビ画面から**チャンネルリスト**や**マニュアルプリセット**メニューを選択しているときは背景はワイドモードのままです。） **end**

ワイドモードの種類



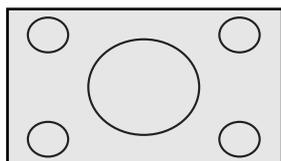
フル

4:3の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。



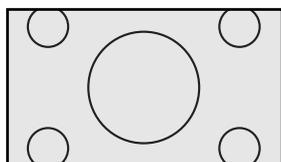
ジャスト

画面の両端に近づくほど、横に伸びる比率が高くなります。画面の中央付近は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイド画面を違和感なく楽しめます。



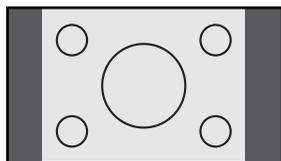
シネマ

フルとズームの中間の比率で、上下を拡大します。字幕が映像の外の黒い部分に表示されるものに適しています。



ズーム

4:3の映像を上下、左右とも同じ比率で拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上にかぶって表示されるものに適しています。



ノーマル

4:3の映像をそのまま表示します。テレビの通常の映像と同じです。

画面を消す

音声を消さずに、画面だけを消すことができます。

1 TVモニターの を押す

もう一度  を押すと、画面を表示します。



end

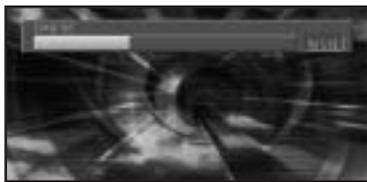
音の調整をする

お好みに合わせてオーディオの音を調整することができます。

音量を調整する

お好みの音量に調整することができます。

- 1 各ソースで **VOLUME** を押して、音量を調整する



+	大きくするとき
-	小さくするとき

- ① 0 ~ 30の範囲で調整が可能です。
- ボリューム調整画面は、4秒間表示されます。 *end*

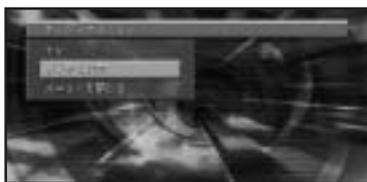
音声案内がよく聞こえるようにする

音声案内、ハンズフリー音声、音声操作の割り込みがあった場合に、一時的にオーディオの音量を絞ったり、消したりして音声を聞きとりやすくすることができます。

- ① 初期値は、**ATT** に設定されています。
- ナビゲーションの音声案内中は、オーディオメニューは表示されません。

- 1 各ソースで **(A.MENU)** を押す
[オーディオメニュー] が表示されます。

- 2 **システム設定** を選んで **(A.MENU)** を押す

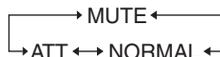


- 3 **消音レベル設定** を選んで **(A.MENU)** を押す

- 4 **◀ ▶** を押して、好みの設定を選ぶ



◀ ▶ を押すごとに、以下のように切り替わります。



ATT	音声が約 $\frac{1}{10}$ 小さくなる
NORMAL	音声は変わらない
MUTE	音声が聞こえなくなる

- ② ナビゲーションのオーディオミュート設定をしたときに、ここで設定した消音レベルが適用されます。『ナビゲーションブック』を参照してください。

- ① [オーディオメニュー] の設定中に、音声案内の割り込みがあった場合は、オーディオの音量は、変わりません。
- [オーディオメニュー] の設定中に、ハンズフリー音声、音声操作の割り込みがあった場合は、[オーディオメニュー] を終了して、それぞれの操作になります。

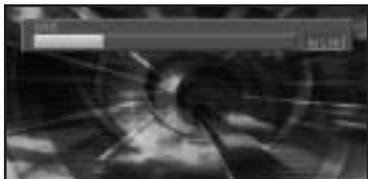
- 5 **BAND/ESC** を押して、設定を終了する *end*

内蔵スピーカーの音声をON/OFFする

車内の会話が聞きとりにくい場合などに、一時的に音を消すことができます。

1 VOLUMEツマミを押す

VOLUMEツマミを押すごとに、ソース音声がON/OFFします。



- ① ● 出力されているソースの音声がOFFになります。
- ボリューム調整をしても音量は変わりません。
- VOLUMEツマミを押してもナビゲーションの音声案内は消えません。 **end**

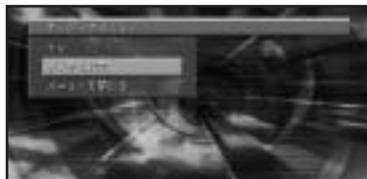
音声をFM付きカーステレオで聞く

テレビ、ビデオ、CDなどの音声をFM電波で飛ばし、その電波をFM付きカーステレオで受信して、カーステレオのスピーカーで聞くことができます。

- ① ● 初期値は、OFFに設定されています。
- ナビゲーションの音声案内を聞くことはできません。
- ナビゲーションの音声案内中は、オーディオメニューは表示されません。

1 (A.MENU)を押す

2 システム設定を選んで(A.MENU)を押す



3 FMトランスミッター設定を選んで(A.MENU)を押す

4 [FMトランスミッター]の項目で、(▶)を押してONにする



(◀)を押すとOFFになります。

5 (▼)を押して、[周波数]の項目にカーソルを合わせる

6 (◀) (▶)を押して、出力させたい周波数を選ぶ

(◀)	周波数を下げるとき
(▶)	周波数を上げるとき



周波数は、76.4~78.4MHzの中から、0.1MHzステップで選ぶことができます。

7 (BAND/ESC)を押して、設定を終了する

8 カーステレオのソースをFMに切り替えて、手順6で選んだ周波数を受信する本機の音声をカーステレオのスピーカーから聞けるようになります。

- i** ● 送信用アンテナの配置場所や、受信する側のラジオのアンテナによっては、ノイズが聞こえたり、受信感度が低くなる場合があります。
- FM放送と混信する場合は、他の周波数を選んでください。
- FMトランスミッターの実用到達距離は、約2mです。(法律により電波の強さが規制されています。)
- FMトランスミッターを使わないときは、必ず**OFF**にしてください。

end

FMトランスミッターのレベルを調整する

カーステレオのスピーカーで本機の音声を聞いていて、普通のFM放送と音量が違って感じている場合は、FMトランスミッターのレベルを調整して、FM放送の音量と合わせてください。

- i** ナビゲーションの音声案内中は、オーディオメニューは表示されません。

1 **A.MENU** – システム設定 – **A.MENU** – FMトランスミッター設定 – **A.MENU** を押す
48P



2 **▼** を押して、[レベル] を選ぶ

3 **◀ ▶** を押して、レベルを調整する

◀	レベルを下げるとき
▶	レベルを上げるとき



- i** ● 最大 -6 ~ +6 の範囲で調整できます。
- FM放送の音が大きく聞こえるときは、レベルを上げてください。
- 本機の音が大きく聞こえたり、歪みを感じたときは、レベルを下げてください。

4 **BAND/ESC** を押して、設定を終了する

end

その他の機能と付録

音声で操作できる機能

付属の音声認識コントローラーとマイクを使って、おもな機能を操作することができます。

CD	ソース切り替え トラックアップ/ダウン
ミュージックサーバー	ソース切り替え プレイリストアップ/ダウン トラックアップ/ダウン プレイリスト名ダイレクト再生 トラック名ダイレクト再生
テレビ・ビデオ	ソース切り替え チャンネル切り替え

➡ 詳しくは、『ナビゲーションブック』、「音声操作」を参照してください。

リアモニターを組み合わせる

RCAリアモニター出力端子に、後部座席用のモニターを接続すると、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。

➡ 接続のしかたは、『取付説明書』を参照してください。

リアモニターに表示される映像について

- リアモニターには、現在選択されているソースの映像が表示されます。[V]で映像を切り替えても、ナビゲーション画面は表示されません。
- リアモニターを2画面表示に切り替えることはできません。
- リアモニターには、映像だけが表示されます。映像、音声、チャンネルなどの情報や、設定メニューは表示されません。
- リアモニターは、パーキングブレーキのON/OFFに関係なく、映像が表示されます。このため、走行中でもテレビやビデオなどの映像を見ることができます。

! リアモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができない場所に設置してください。

- i ● 映像を出力するために使われる信号形式には、RGBとコンポジット信号の2通りがあります。
- コンポジット信号は、一般のビデオデッキなどのRCA映像出力に使われる信号です。
- RGB信号は、パソコンの画面表示などに使われる信号です。本機では、ナビゲーションの映像をより鮮明に表示するために、通常RGB信号を使用しています。(コンポジット信号よりも鮮明に映像を表示できます。)

TVモニターの正しい使いかた

取り扱い上のご注意

TVモニターは次の温度範囲内でお使いください。

使用温度範囲：-10度～+50度

保存温度範囲：-20度～+80度

直射日光の当たる状態で長時間使用すると、高温になり、液晶画面が故障する恐れがあります。できる限り直射日光が当たらないようにしてください。

TVモニターの液晶画面は、車内での視認性向上のためにむき出しになっています。故障する恐れがありますので、液晶画面を強く押さないでください。

キズや汚れの原因になりますので、液晶画面には触らないでください。



液晶画面について

TVモニター画面の中に小さな黒い点や明るく光る点(輝点)ができることがあります。これは液晶TVモニター特有の現象で故障ではありません。

寒いところでお使いになるときは、電源を入れた後、しばらく画面が暗いことがあります。時間がたつと正常な明るさに戻ります。

TVモニター画面に直射日光が当たると、光が反射し画面が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。

小型蛍光管について

液晶画面を光らせるために、TVモニター内部に小型蛍光管を使用しています。この蛍光管は、消耗品で寿命があります。

蛍光管の寿命は約1万時間ですが、寒いところでお使いになりますと、寿命が短くなることがあります。

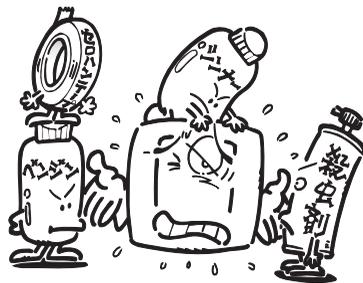
蛍光管が寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このときはお買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

お手入れについて

画面に付いたほこりやTVモニターの汚れを清掃するときは、電源を切ってから、柔らかい布でから拭きしてください。

画面をふくときは、ツメで引っかかないように注意してください。画面にキズが付くと映像が見づらくなります。

化学ぞうきんをお使いの場合は、化学ぞうきんに添付の注意事項をよくお読みください。ぬれたぞうきんは、使用しないでください。また、ベンジンやアルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。



故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。

チェックしても直らないときは

本機をリセットしてください。
『スタートブック』、
「リセットのしかた」

それでも直らないときは

『スタートブック』、「保証書発行兼お客様登録カード」とアフターサービスをお読みになり修理を依頼してください。

共通項目

症状	原因	処置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線や各コネクタが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。 『取付説明書』
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換してください。 『取付説明書』
	ノイズなどが原因で内蔵のマイコンが誤動作している。	リセットボタンを押してください。 『スタートブック』、「リセットのしかた」
リモコンで操作できない。 操作に合った正しい動作しない。	リモコンの操作モードが間違っている。	リモコンの操作モードを正しく切り替えてください。 「リモコンの各ボタンの表記」(10P)
	電池が弱っている。	新しい電池に交換してください。 『スタートブック』、「リモコンを使う前に」
再生できない。	ディスクが汚れている。	汚れを拭き取ってください。 『スタートブック』、「DVD/CDの正しい使いかた」
	本機で再生できない種類のディスクが入っている。	ディスクを確認してください。 「再生できるディスクの種類」(12P)
音が出ない。	接続が間違っている。	接続を確認してください。
映像が出ない。	パーキングブレーキコードが接続されていない。	パーキングブレーキコードを接続し、パーキングブレーキをかけてください。 『取付説明書』
	パーキングブレーキをかけていない。	
音が小さい。	接続した機器の音量を下げています。	接続した機器の音量を上げてください。
	アッテネータがONになっている。	アッテネータを解除してください。

共通項目(つづき)

症 状	原 因	処 置
音や映像がとぶ。	本機がしっかり固定されていない。	本機をしっかりと固定してください。 『取付説明書』
TVモニターにナビゲーションの映像が映らない。	TVモニターの映像が、ナビゲーションに切り替わっていない。	TVモニターの映像をナビゲーションに切り替えてください。 「映像の切り替えかた」(13P)
内蔵スピーカーの音が出ない。	内蔵スピーカーがOFFに設定されている。 リモコンのVOLUMEツマミを押している。	内蔵スピーカーから出力されるように設定してください。 「内蔵スピーカーの音声をON/OFFする」(48P)
カーステレオのスピーカーから音が出ない。	FMトランスミッターの設定がOFFになっている。	設定を切り替えてください。 「音声をFM付きカーステレオで聞く」(48P)
	FM付きカーステレオの受信周波数が合っていない。	本機の送信周波数と、FM付きカーステレオの受信周波数を合わせてください。 『FM付きカーステレオの説明書』

モニター

症 状	原 因	処 置
映像が明るい。 映像が暗い。	黒の濃さ の調整が適切でない。	黒の濃さ を調整してください。 「黒の濃さやコントラストを調整する」(41P)
	コントラスト の調整が適切でない。	コントラスト を調整してください。 「黒の濃さやコントラストを調整する」(41P)
液晶画面が暗い。	明るさ の調整が適切でない。	明るさ を調整してください。 「液晶画面の明るさを調整する」(42P)
	車内の温度が低い。	液晶モニターは、周囲の温度が低いと画面が暗くなる場合がありますので、ヒーターで車内の温度を上げてください。
映像の色が薄い。 または濃い。	色の濃さ または 色あい の調整が適切でない。	色の濃さ または 色あい を調整してください。 「色の濃さや色あいを調整する」(42P)
映像の色あいがおかしい。		
液晶画面の中に、小さな黒点や輝点がある。	液晶特有の現象で、故障ではありません。	—

故障かな？と思ったら

テレビ

症 状	原 因	処 置
テレビの映りが悪い。 “ジージー、ザーザー”と いう雑音が多い。	チャンネルが合っていない。	チャンネルを正しく合わせてください。 「基本的なテレビの見かた」(15P)
	放送局の電波が弱い。	他のチャンネルを選局してみてください。 「基本的なテレビの見かた」(15P)
	周りに障害物があるなど、 受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、映りがよくなり、 雑音も少なくなります。
	アンテナ線と他のケーブル を束ねたり、重ねたりし ている。	アンテナ線と他のケーブルは、できるだけ 離してください。 『取付説明書』
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。 「基本的なテレビの見かた」(15P)

CD

症 状	原 因	処 置
CD再生中に、大きな雑音 が出る。 CDの再生が途中で止ま る。	CDにキズやそりがある。	他のCDと交換してください。それで良 くなれば、CDの不良です。
	CDが極端に汚れている。	CDの汚れを拭き取ってください。 『スタートブック』、「DVD/CDの正しい使いかた」
	CDにくもりや水滴がつい ている。	CDの曇りや水滴を拭き取ってください。
	CDの裏表を逆にしてセッ トしている。	CDのタイトル面を上にしてセットし てください。

ミュージックサーバー

症 状	原 因	処 置
プレイリストが再生でき ない。	プレイリストの再生が許 可されていない。	再生許可に切り替えてください。 「再生しないプレイリストを設定する」 (36P)
	ポーズ(一時停止)がONに なっている。	ポーズをOFFにしてください。 「再生を一時停止する」(29P)
CDが録音されていない。	CDの録音が中止された。	CDの録音には制限があります。 「CD録音の制限について」(31P)
プレイリストのタイトル情 報が取得できない。	電話が接続されていない。	電話の接続を確認してください。
	ナビゲーション側で通信 機器を使用している。	ナビゲーション側の通信機器の使用が終 わってから操作してください。

故障かな？と思ったら

こんなメッセージが表示されたら

ディスクを正常に再生できないときは、エラーメッセージが表示されます。

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
再生できません。ディスクを取り出してください。	ディスクが極端に汚れている。	ディスクの汚れを拭き取ってください。 『スタートブック』、「DVD/CDの正しい使いかた」
	ディスクにキズやそりがある。	ディスクにキズがあるときは、ディスクを交換してください。
	ディスクの裏表を逆にセットしている。	ディスクのタイトル面を上にしてセットしてください。
	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してください。 「再生できるディスクの種類(12P)」
Error-5 Error-6	本機の電気系、機構系の故障が考えられる。	リセットボタンを押してください。 『スタートブック』、「リセットのしかた」
ディスクが入っていません。	ディスクが入っていない。	ディスクをセットしてください。
温度保護回路作動中	本機の内部温度に異常がある。	本機が正常な動作をする温度になるまで、お待ちください。改善されない場合は、本機の設置場所に問題がないか確認してください。 『取付説明書』
再生できないディスクです。	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してください。 「再生できるディスクの種類(12P)」
高温、または低温のため、CDが再生できません。ディスクをとりだしてください。	本機の内部温度が高い、または低い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常になるまで、お待ちください。改善されない場合は、本機の設置場所に問題がないか確認してください。 『取付説明書』

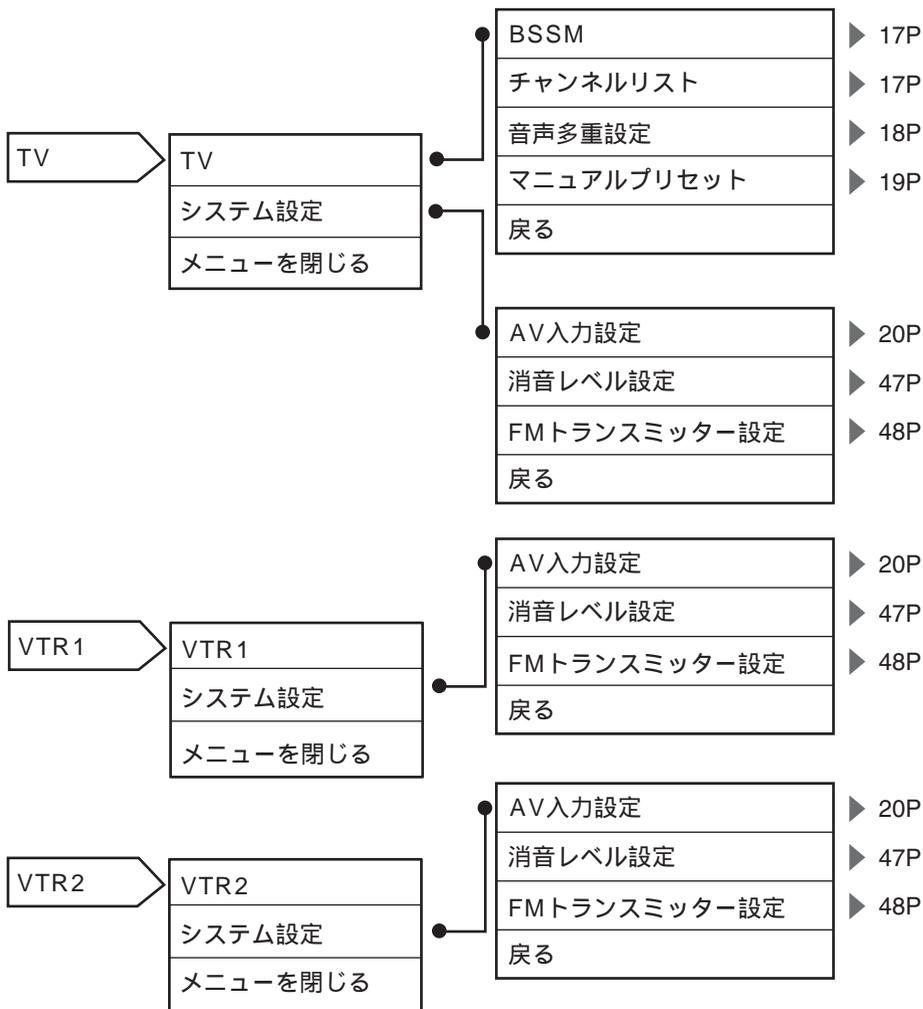
こんなメッセージが表示されたら

ミュージックサーバー

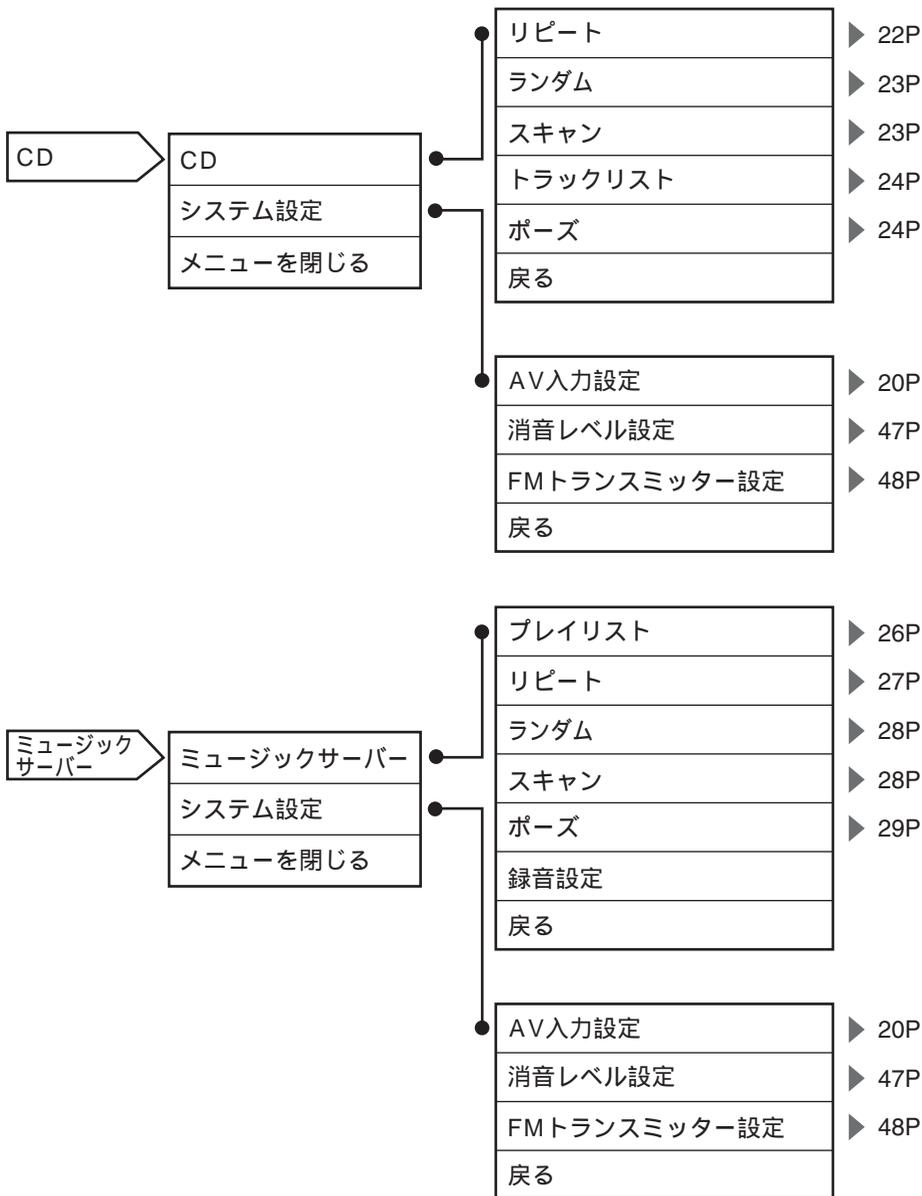
メッセージ	原因	処置
このCDは録音できません。	CD-Rなどコピー禁止のディスクから録音しようとしている。	一般のCDなど、コピー可能なディスクに交換してください。
低温のため、録音できません。	低温のため、録音できない。	温度が上がるまで、しばらくお待ちください。
HDD容量不足のため、録音できません。	HDD(ハードディスク)の残容量が足りないため、録音できない。	録音済みの曲やプレイリストを消去してください。 「プレイリストを消去する」(35P)、「曲を消去する」(38P)
このトラックはすでに録音されています。	マニュアル録音モードで、録音済みのトラックを録音しようとしている。	録音済みのトラックは、同じCDから重複して録音できません。
ミュージックサーバーのデータ転送に失敗しました。販売店またはサービスステーションに御相談ください。	録音・再生プログラムに異常がある。	販売店またはサービスステーションにご相談ください。

索引

メニュー索引



メニューを開くことはできません。



用語索引

五十音順

あ行

明るさ	42
色あい	42
色の濃さ	42
エリアプリセットチャンネル	16
オリジナルプレイリスト	25、33
音声多重放送	18

か行

黒の濃さ	41
コントラスト	41

さ行

再生(不許可)	36
自動選局	15
シネマ	45
ジャスト	45
主音声	18
手動選局	15
スキャン再生	23、28
ズーム	45
ソース	13

た行

タイトルサーチ	39
トラック	12、37
トラックリスト	24

な行

ノーマル	45
------------	----

は行

バンド	15
ピクチャーサイドピクチャー	43
副音声	18
プリセットチューニング	16
フル	45
プレイリスト	26
ポーズ	24、29

ま行

マニュアルプリセット	19
------------------	----

や行

ユーザープレイリスト	25、33
------------------	-------

ら行

ランダム再生	23、28
リアモニター	50
リピート再生	22、27
録音	30
録音モード	30

わ行

ワイド映像	44
-------------	----

数字・アルファベット順

数字

2画面表示	43
-------------	----

B

BSSM	17
------------	----

F

FMトランスミッター	48
------------------	----

O

OFF	14、20、22、23、24、 27、28、29、30、48
-----------	-----------------------------------

P

PLAYLIST RANDOM	28
PLAYLIST REPEAT	27
PLAYLIST SCAN	29

R

RANDOM.....	28
REPEAT	27

S

SCAN	29
------------	----

T

TVプリセットチャンネル.....	16
-------------------	----



お客様ご相談窓口 (全国共通フリーフォン)

カスタマーサポートセンター

カーオーディオ/カーナビゲーション商品のお問い合わせ窓口

0070-800-8181-11

カタログのご請求窓口

0070-800-8181-33

<ご注意> PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話、および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。
修理に関しては、別添えの『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内
<http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html>

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 2001

<KGNEF/01D00001> <CRA3170-A>